

やまぐちの子育て支援



山口病院では、妊娠・出産後も安心して子育てができるよう、子育て支援に力を入れています。出産後は1年間の育児休暇を設け、また仕事に復帰した後も、勤務時間の変更など、できるだけ働きやすい環境を整えています。働くママを職場みんなで応援中!

育児休暇があったから復帰できました!

産休後に戻る場所があるのは大きな安心感につながりました。子どもの行事や急な発熱で休むことがあっても、周りが理解と協力をしてくれるからこそ、育児と仕事の両立ができるのだと思感謝しています。

看護師(外来) 京極 美紀



山口病院研修大会

今年3月25日(土)、恒例の研修大会が日本ガイシフォーラムで開催されました。インフルエンザ対策をはじめとする研修会の後、6つの部署が職場発表を行うなど、充実したプログラム内容となりました。詳しくはホームページをご覧ください。



理念

家族を想う気持ちを大切にしたい

基本方針

1. 地域への貢献

私たちは24時間体制で地域住民が安心できる医療を提供できるよう努めます。

2. 選ばれる病院

私たちは一人ひとりが「山口病院の顔」であり、患者さんに「山口病院を選んで良かった」と思われる雰囲気づくりに努めます。

3. 向上心と信頼関係

私たちは常に向上心を持ち、お互いに尊敬し合い、信頼できる関係で、「和」の気持ちが「輪」の絆へと繋がるように努めます。

■診療科目

一般診療 整形外科、内科、外科、消化器科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科

特殊診療 CPAP(睡眠時無呼吸症候群治療)、AGA(男性型脱毛症)
在宅酸素療法、禁煙治療、ED(勃起障害治療)

*訪問診療 病状などにより、通院が困難な方の家をお訪ねします。

■病床数 60床(うち地域包括ケア病床 12床)

■診療日

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×

休診日／日曜日・祝日・土曜日午後
※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします(24時間体制)

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市南区加福本通3-28

TEL 052-611-6561(代) FAX 052-613-0333

名鉄：「大江駅」下車、南へ150m

市バス：新瑞橋13系統(左回り)／新瑞橋14系統「港東通」下車
神宮15系統「大江駅前」下車

<http://www.yamaguchi-hp.jp>



スマートフォンでも
ご覧ください



やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌

2017 Summer

健康で長生き!
山口病院の4コマまんが

脳梗塞や脊髄の変化を見逃さない

「MRI検査」。

ご自由にお持ち帰りください



健康で長生き!

山口病院の 4コマまんが

脳梗塞や 脊髄の変化を 見逃さない MRI検査。

MRI検査では、体内のさまざまな病気を発見することができますが、特に脳や脊椎、四肢などにおける病気に対して、高い検査能力を発揮します。当院では、1週間ほどでMRI検査の予約ができるので、気になる症状のある方は、早めの検査をおすすめします。

山口病院のMRI検査

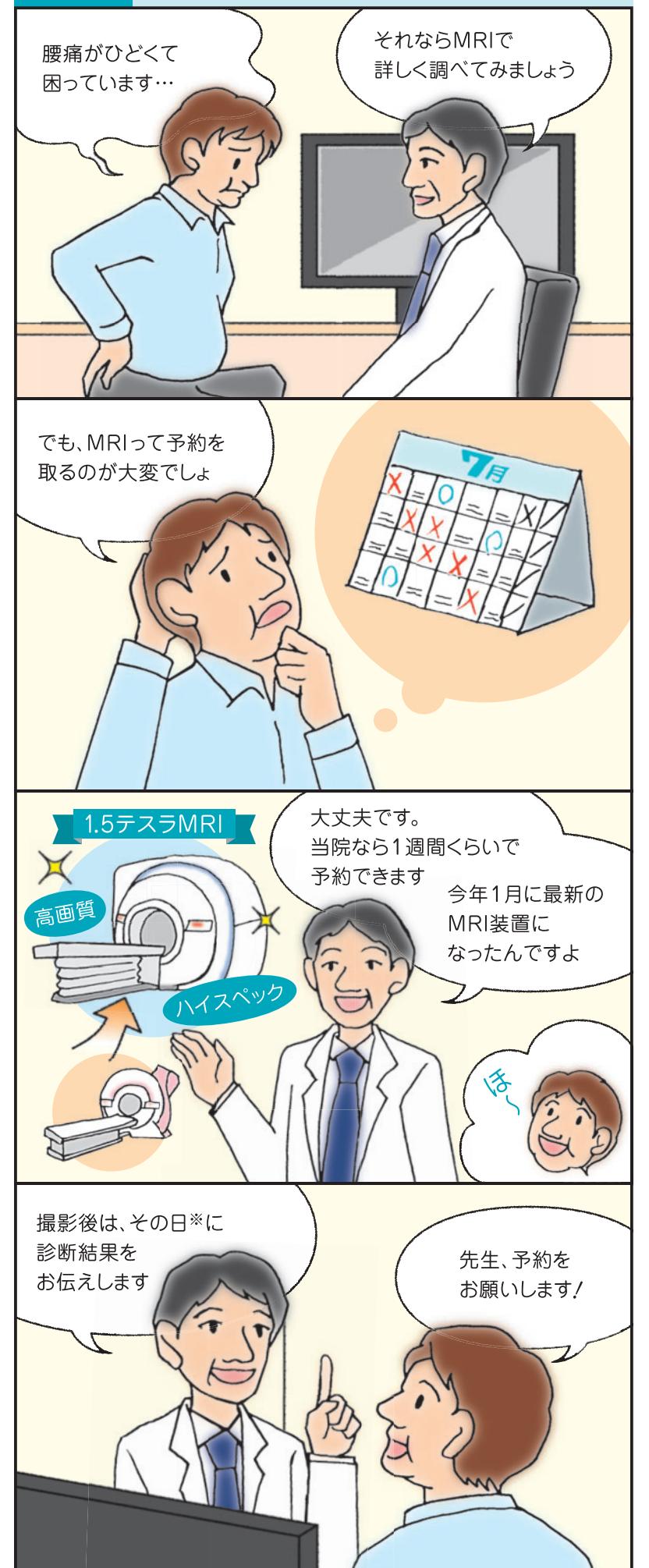
1.5テスラMRIの導入によって多くの画像情報を得られるようになり、病気の早期発見にも役立ちます。検査内容などについてお気軽にお尋ねください。

お問い合わせ

山口病院
052-611-6561(受付)

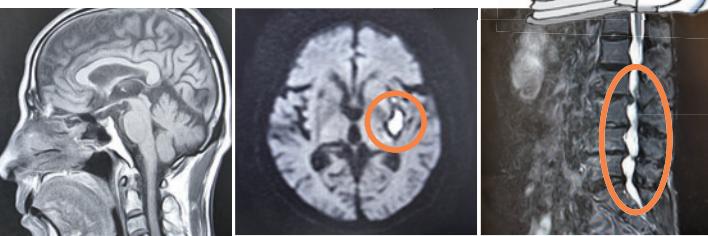
第5回

MRI検査で早期発見



※撮影する部位や担当医師によって、診断結果をお伝えする日が後日になる場合もあります。

高画質の1.5テスラMRIを導入しました



(左)正常な頭部の画像 (中)脳梗塞が見つかった頭部の画像(DWI)
(右)脊髄の圧迫が見られる脊柱管狭窄症

磁石と電波を使って体内を撮影するMRI検査は、放射線による被ばくの心配がなく、また造影剤を使わずに血管を撮影できるので、患者さまに優しい画像診断装置です。従来の1.0テスラから1.5テスラにバージョンアップしたこと、診断の精度がさらに高まりました。

頭 部

- ひどい頭痛がある、脳し�んとうを起こした方 → 脳挫傷など後遺症がないか
- 頭痛が続く働き盛りの方 → 脳卒中の危険性がないか
- 高血圧、糖尿病など持病のある高齢の方 → 脳卒中の危険性がないか
- もの忘れがひどい方 → 認知症かどうか

こんな症状の方におすすめです

骨・関節

- リウマチの活動性について → 滑膜炎を評価できる
- ケガなどで痛みが長引く方 → レントゲンで分かれにくい骨挫傷や不全骨折が分かる

※レントゲンでは分からない「軟部腫瘍」が分かる

脳神経外科

画像を読影するとき大切なのは、患者さまの基礎疾患や年齢などをきちんと頭に入れておくこと。患者さまに関する周辺情報も、診断するうえで重要な判断材料のひとつです。今年1月、MRIがバージョンアップしたこと、いっそう細かい診断ができるようになり、医師としてうれしく思います。より確実に診断し、早期治療へつなげたいと考えています。



脳神経外科担当 森田 功

～医師からのメッセージ～

整形外科

テレビの4Kでは高画質を実感するように、MRIも1.0と1.5テスラでは大きく異なります。従来、病変と正常組織の境界が分かれづらかった部分が、1.5テスラで撮影するとクリアになり、細かい病変も診断できます。ただし、画像だけに頼るのではなく、患者さまの話にもしっかりと耳を傾け診察した上で、よりいつそう確実な診断を目指します。



整形外科部長 石原 銀太朗

笑顔とやまぐち



理学療法士 犬飼 愛美

人は自分の鏡。いつも笑顔をたやさず。

高校生のときのこと。脳梗塞で倒れて入院した祖父をお見舞に行くと、ベッドでリハビリ指導をしている方がいて。初めて理学療法士という仕事を知りました。お見舞に行くたび、リハビリのおかげで日に日に元気になっていく祖父を見て「理学療法士っていい職業だな」と。仕事はとても楽しいです。しかも職場はいい人ばかり。「人は自分の鏡」なので、いつもニコニコして、患者さまの不安を少しでも取り除いたらうれしいですね。



同僚からのメッセージ

ハキハキとして明るい人柄なので、職場のスタッフはもちろん、患者さまともすぐ打ち解けてしまう、うらやましいキャラです。(マッサージ師・柔道整復師 仲澤 豊洋)

